

令和7年 **9** 月 くらしのお手入れ

目次

- (1)  洗面所、手間かけずきれいに 使用後、台所用洗剤で一拭き
- (2)  浴室のカビ、効果的な対策は

8月の住まいのお手入れ わが家の定期診断チェックポイント 床

(1) **洗面所、手間かけずきれいに**

使用後、台所用洗剤で一拭き

- *洗面所は、広さや見た目以上に多機能…衛生作業、身支度、洗濯補助、脱衣・着替え。
 - *複数の用途を1か所で賄うため、汚れの種類也多岐にわたります。
 - *台所用中性洗剤は、水溶性の汚れ（歯磨き粉、石鹸カスなど）にも、油溶性の汚れ（皮脂、整髪料、ファンデーションなど）にも対応できます。
 - *洗面所のドアや床なども、数滴の台所用中性洗剤をもみこんだ雑巾で拭くと、ほこりやべたつき汚れを落とせます。
 - *使うスポンジは軟らかいものを選びます。
 - *住居用の撥水スプレーによるコーティングも効果的。
 - *水がかかっても玉状に弾き、汚れや水垢が付きにくくなります。
 - *塗布は2週間に1回程度。
 - *使用前に汚れを落とし、乾いた状態でコーティングすることが大切。
- （2025年8月2日 日本経済新聞記事より抜粋）

(2) **浴室のカビ、効果的な対策は**

「増殖の3条件を断つ」が基本

- *カビの原因菌は浴室内に潜んでいて、室温20～30度、湿度70%以上、栄養（皮脂や垢などの汚れ）の3つの条件が揃うと増殖します。
- *カビ対策の基本は、カビが好む3条件（温度・湿度・栄養）をそろえないこと。

- * 浴槽にお湯をためているときは、風呂ふたを閉めておきます。
- * 開けっ放しにすると、ふたをしたときに比べて湿度が 10～20%上がります。
- * ふたは湿度上昇を抑えるほか、浴槽のお湯に浮く皮脂などの汚れが湯気とともに空中に飛散し、壁や天井に付着するのも防ぎます。
- * 壁や床をすすぐときは、冷水ではなくお湯を使います。
- * お湯は水滴が残りにくく、生じた湯気は換気で取り除けます。
- * 換気扇を使うときは、浴室の窓やドアを閉めることが大事。
- * 窓やドアが開いていると、換気扇の効率が下がってしまいます。
- * ドア下に多い通気口はホコリが溜まりやすいので、ブラシなどで取り除きます。
- * 風呂上りに水気を拭く・切る習慣を。
- * 水滴がついたり、水が溜まりやすい所はタオルなどで拭き取ります。
- * 1、2 か月に 1 度は洗剤やカビ取り剤を使って、汚れやカビを落とす掃除を。
- * 塩素系カビ取り剤を水を流す前に使います。
- * 気になる所に直接吹き付け、手の届かない所は固く絞ったクロスを付けたフローリングワイパーにカビ取り剤を吹き付けて拭きます。
- * 床には水で 2 倍に薄めたカビ取り剤を流し、床用ブラシで伸ばします。
- * しばらく時間を置き、薬剤を水で洗い流した後、浴室用洗剤を使って「浴槽の中や壁」「小物」「床」「排水口」の順で洗います。
- * ブラシで強くこするのは、傷ついた箇所にカビが入り込むので逆効果。こすらず流すだけ。
- * 排水口予防には、入浴後、排水口のふたを外しておきます。
- * 臭いやぬめりがひどければ、カビ取り剤を吹き付け水でよく流します。
- * カビは生えた後より、生える前のほうが対処が楽。

定期的に燻煙剤で予防

- * 浴室用の防カビ燻煙材は、2 か月効果が続きます。
- * 浴室の中央に置き、90 分以上放置するだけで除菌ができます。
- * 風呂掃除の前と後どちらでも効果は変わりません。
- * カビを落とすことはできません。
- * 頑固な黒ずみにはカビ取り剤を吹き付け、ティッシュなどで覆って時間をおいてから、洗い流すように。

(2025 年 8 月 23 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



8月の住まいのお手入れ わが家の定期診断チェックポイント

床



●目的

- * 仕上げ材の劣化状況を確認。
- * 下地材などの劣化状況を類推。

●方法

- * 1年に1度、足の裏の神経も働かせて家の中を歩き、異常がないかをチェック。
- * 床の水平が気になる箇所（畳以外）があれば、ビー玉を転がしてチェック。

●ポイント

- * 床が沈むところがないか、床鳴りがするところがないかを確認。
- * 仕上げ材のひっかかりがないか、仕上げ材のはがれや汚れがないかを確認。
- * 床が傾いていてビー玉が一方向に激しく転がるような場合は、工務店に相談。

（参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」）

